

調査概要

<調査期間>

調査実施日：2022年2月28日～2022年3月3日

昨年同時期：2021年2月24日～2021年3月2日

Subjects

1 〈学生動向〉 P.2

- ・ インターンシップ平均参加率と平均参加社数
- ・ 面接平均参加率と平均参加社数
- ・ 平均内定率と平均内定社数

2 〈企業動向〉 P.5

- ・ 主要ナビサイト掲載社数（3月1日時点）
- ・ 業種別 主要ナビサイト掲載社数（3月1日時点）
- ・ 主要ナビサイト3月説明会告知社数（地域別）
- ・ マイナビでの3月全国説明会告知社数（対面・WEB比較）

3 〈学生アンケート〉 P.7

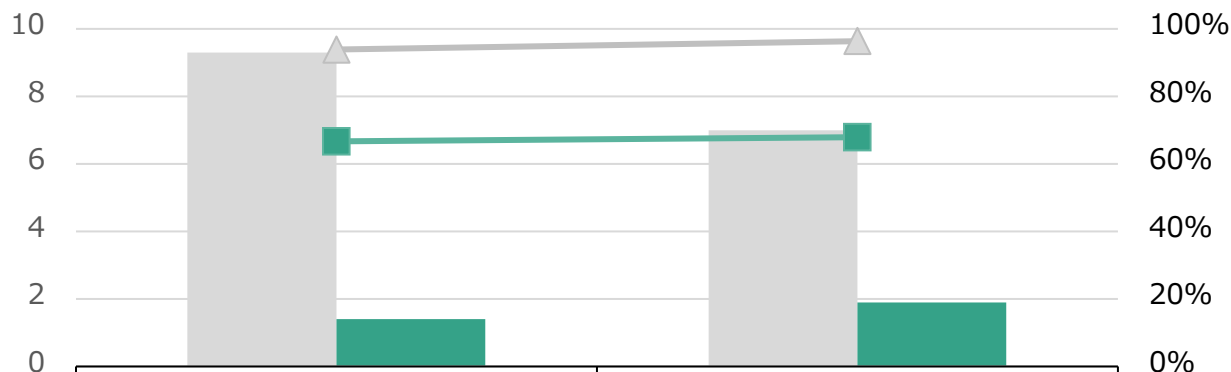
- ・ 現在登録している就職ナビを教えてください。
- ・ あなたが参加しやすいと感じる、もしくは参加したいと感じる
対面説明会・WEB説明会・WEB面談は？
- ・ 自己PR方法として「手書き」か「動画」のどちらが好ましいですか？
- ・ 1次面接（人事面接）は「オンライン」か「対面」のどちらが好ましいですか？
- ・ 役員・社長との面接は「オンライン」か「対面」のどちらが好ましいですか？
- ・ 第一志望でない企業から、「自社の志望度」を聞かれた時、あなたならどう答えますか？
- ・ 「#〇〇」などを用いてSNSで就活に関する検索をしたことがありますか？
- ・ YouTubeやTik Tokなどの動画コンテンツを用いて、採用関連の動画を見たことはありますか？
- ・ 「学業（ゼミ・研究）、部活動やサークル、アルバイト、就職活動、プライベート、その他」
それぞれの活動比率を10段階で割り振ると現在どのようになりますか？
- ・ SDGsにどれくらい興味関心がありますか？
- ・ SDGsを入社理由として重視していますか？
- ・ あなたが就職活動を楽しみを進めるために利用していることや準備していることは何ですか？

1. 学生動向

インターンシップ平均参加率と平均参加社数

■ 2023年卒 平均社数(WEB) ■ 2023年卒 平均社数(対面)
▲ 2023年卒 WEBインターンシップ参加率 ■ 2023年卒 対面インターンシップ参加率

(社)



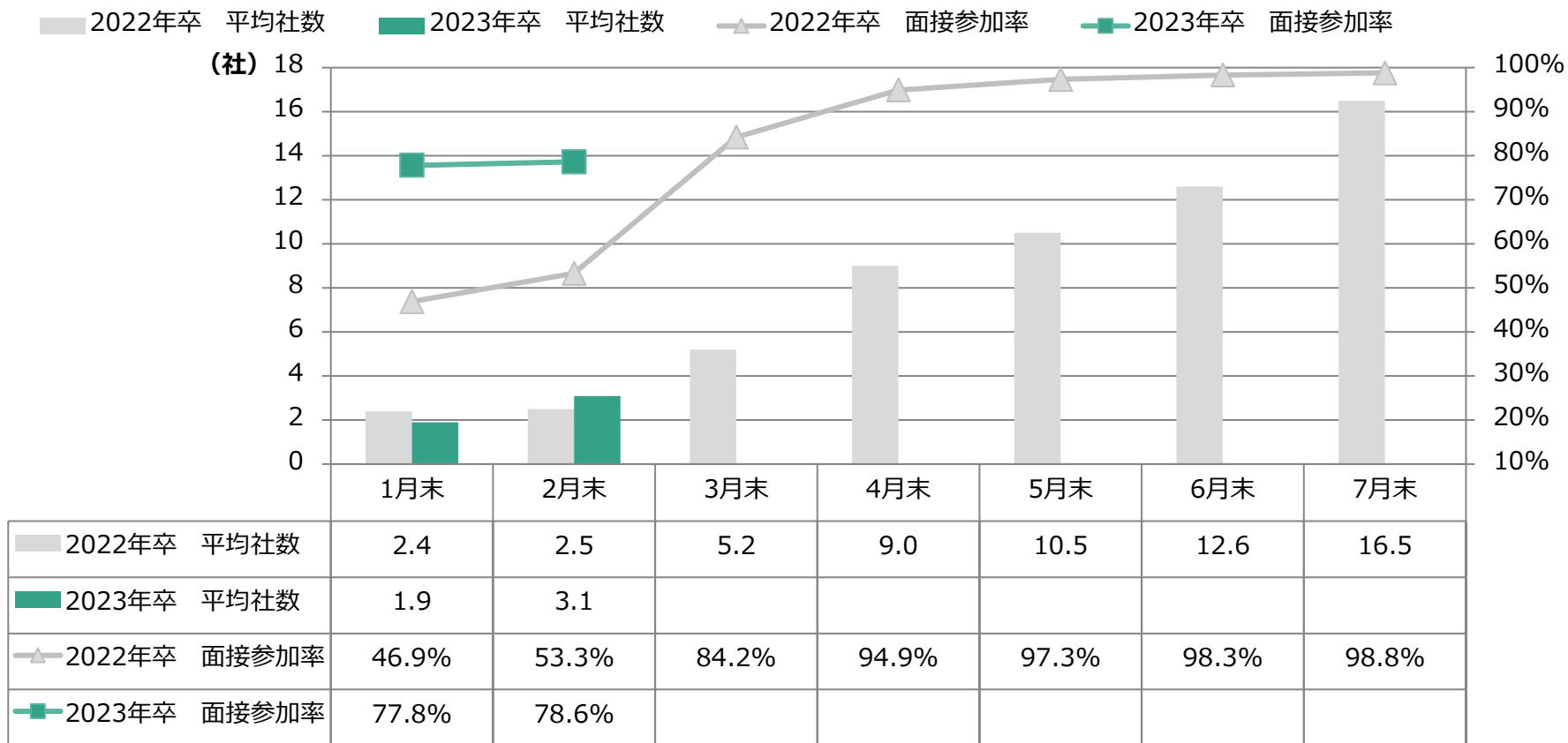
項目	1月末	2月末
■ 2023年卒 平均社数(WEB)	9.3	7.0
■ 2023年卒 平均社数(対面)	1.4	1.9
▲ 2023年卒 WEBインターンシップ参加率	93.9%	96.4%
■ 2023年卒 対面インターンシップ参加率	66.7%	67.9%

■ 対面での就活経験が希薄に

1月同様、WEBと対面の参加率に大きく差がついています。グラフには反映していませんが、参加社数の最も多い学生だと、WEBで30社、対面で4社と回答していました。また、WEBは参加しているが対面は参加していないという学生も3割程度おり、今後の説明会・選考が人生初めての対面参加というケースも多くなりそうです。

1. 学生動向

面接平均参加率と平均参加社数



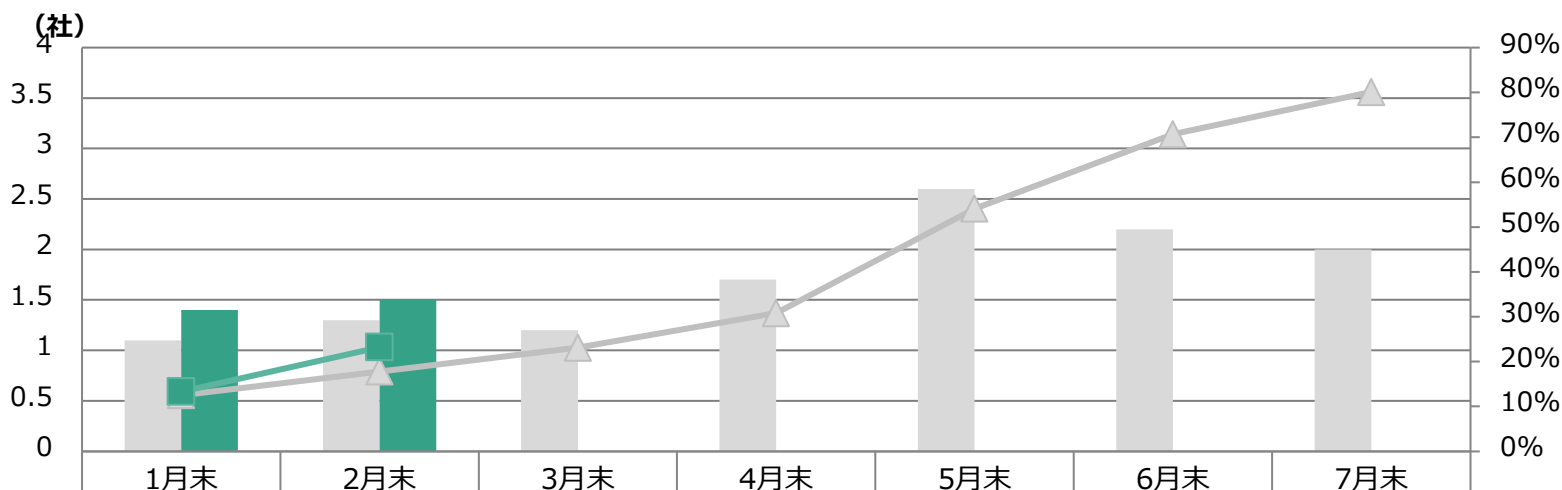
■ 昨年同時期より、面接参加率は25.3ポイント増加

前年同時期と比較すると、面接参加率は25.3ポイント上昇しており、大幅な早期化が見て取れます。学生の面接参加社数が増え始めると、一方で、学生が説明会に参加できる時間は減少するため、説明会への動員が昨年より厳しくなることはまちがいありません。

1. 学生動向

平均内定率と平均内定社数

■ 2022年卒 内定社数 ■ 2023年卒 内定社数 ▲ 2022年卒 平均内定率 ■ 2023年卒 平均内定率



■ 2022年卒 内定社数	1.1	1.3	1.2	1.7	2.6	2.2	2.0
■ 2023年卒 内定社数	1.4	1.5					
▲ 2022年卒 平均内定率	12.5%	17.8%	23.1%	30.8%	54.1%	70.7%	80.1%
■ 2023年卒 平均内定率	13.3%	23.2%					

■ 内定率は23.2%、前年より1カ月前倒しの結果に

内定率は23.2%と先月末よりも0.9ポイント上昇し、前年の3月末を上回る結果となりました。参加社数は1.5社と、一人当たりの獲得社数に大幅な伸びはありませんが、すでに5人に1人が解禁時点で内定を保持しているという市場感を、企業側は念頭に置いて活動を進めていくべきでしょう。

2. 企業動向

23卒採用 掲載社数・説明会告知社数ともに大幅増

主要ナビサイト掲載社数（3月1日時点）

◆全国

	22卒向け	23卒向け
マイナビ	24192	26367
リクナビ	10826	13538

◆首都圏

	22卒向け	23卒向け
マイナビ	10994	11805
リクナビ	4808	5340

◆近畿

	22卒向け	23卒向け
マイナビ	3754	3991
リクナビ	1780	2278

業種別 主要ナビサイト掲載社数（3月1日時点）

	首都圏		近畿	
	マイナビ	リクナビ	マイナビ	リクナビ
メーカー	3904	1699	1567	914
商社	1212	481	561	257
流通・小売	430	214	157	97
金融	452	197	106	47
サービス・インフラ	3243	1687	1108	701
ソフトウェア・通信	1656	825	309	190
広告・出版・マスコミ	591	237	98	72
官公庁・公社・団体	317	-	85	-

2. 企業動向

主要ナビサイト3月説明会告知社数（地域別）

◆首都圏

	22卒	23卒	増減
マイナビ	-	7091	-
リクナビ	2623	3337	+27.2%

※マイナビは本社所在地が関東/説明会開催地が関東・WEBの企業

◆近畿

	22卒	23卒	増減
マイナビ	-	2766	-
リクナビ	1263	1712	+35.6%

※マイナビは本社所在地が関東/説明会開催地が関東・WEBの企業

マイナビでの3月全国説明会告知社数（対面・WEB比較）

	22卒	23卒	増減
説明会告知 全企業数	16277	17243	+5.9%
対面	9859	9894	+0.4%
WEB	10655	12676	+19.0%

※対面・WEBどちらも実施している企業を含む

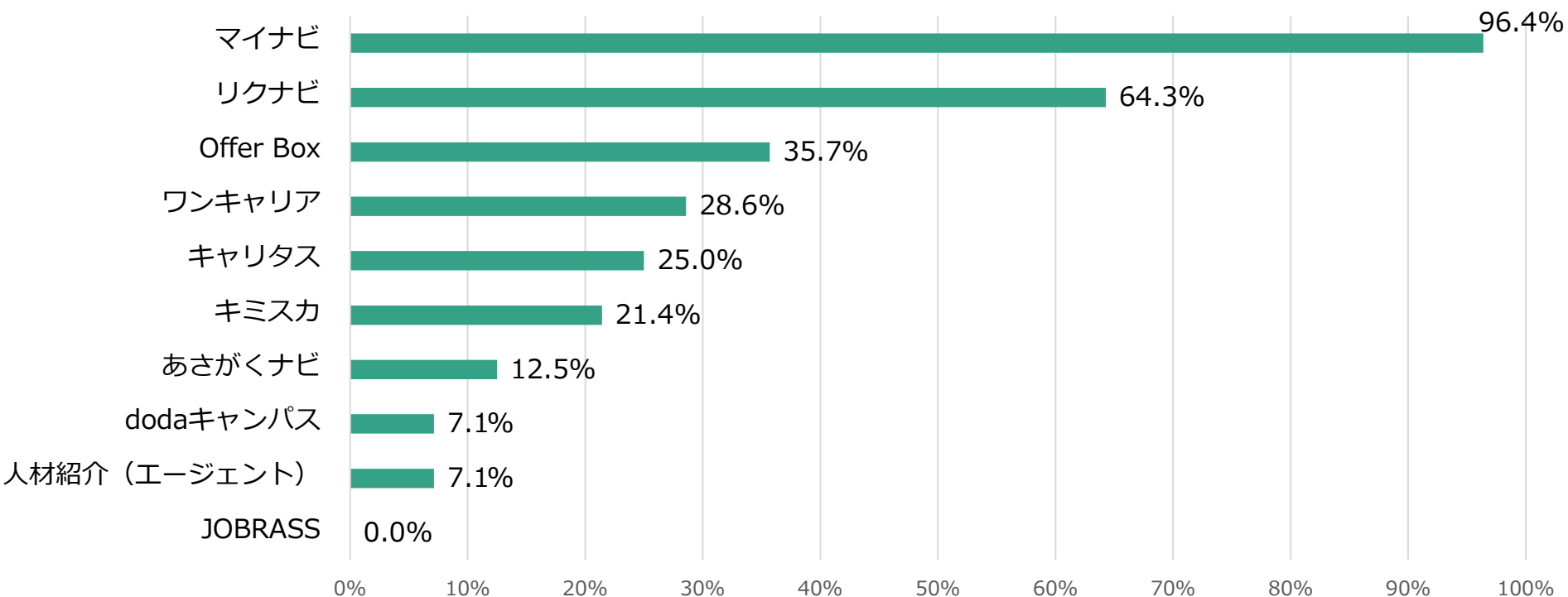
■ 2023卒採用 説明会の告知社数は約20%UP

23卒採用について、主要ナビサイトでの掲載社数はマイナビ、リクナビともに昨年を大きく上回りました。

また、マイナビでの3月の説明会告知社数は昨年対比で+19.0%となり、企業の採用意欲が大幅に回復していることがうかがえます。昨年より競合が増えることから、学生の母集団形成や惹きつけがより難しくなってくることは間違いない状況です。

3. 学生アンケート

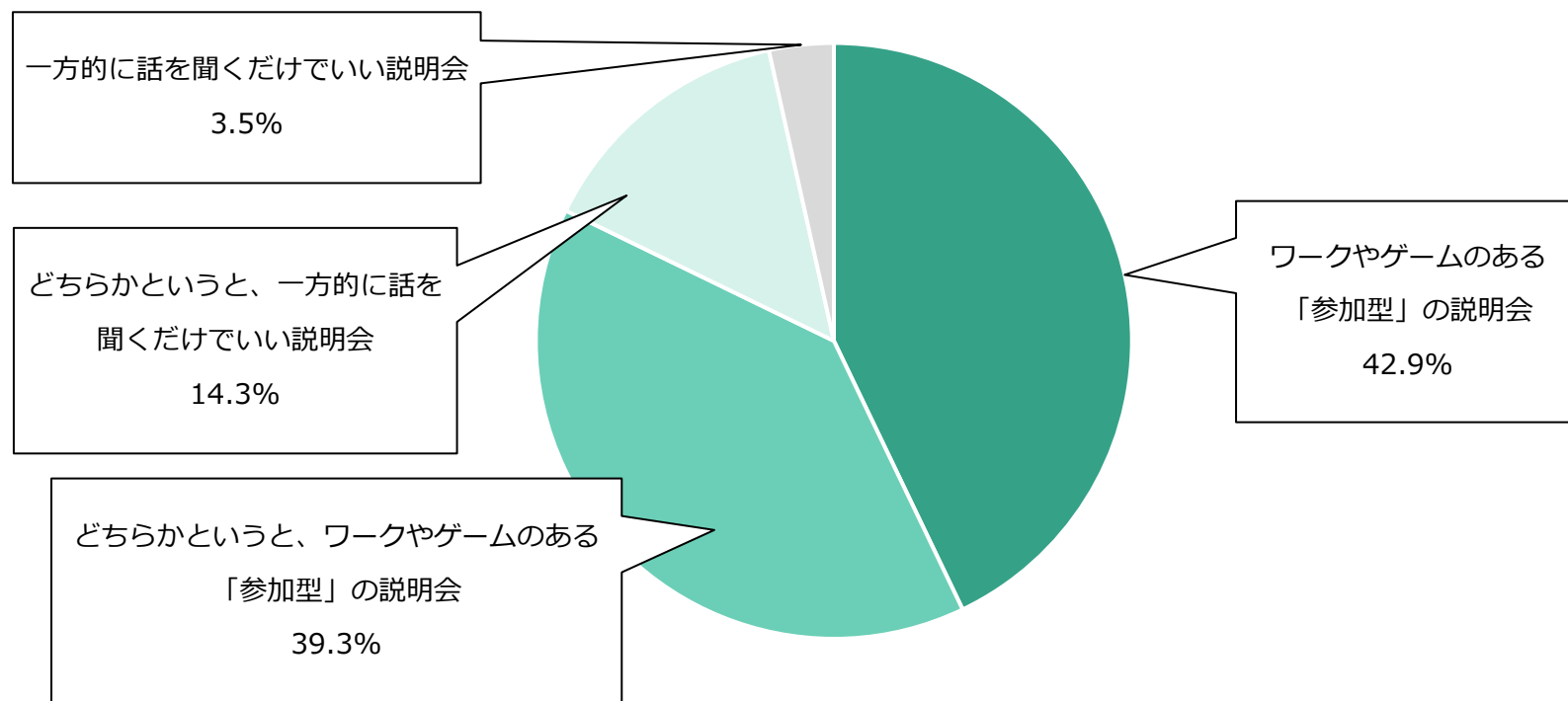
Q. 現在登録している就職ナビを教えてください。（複数回答可）



解禁を迎え、改めて登録しているナビサイトを聞いてみました。先月と比較すると、マイナビの登録率は3.1ポイント上昇しています。また、スカウト系サイト4社（OfferBox・キミスカ・dodaキャンパス・JOBRASS）を比較すると、最も登録されているのはOfferBoxという結果になりました。

3. 学生アンケート

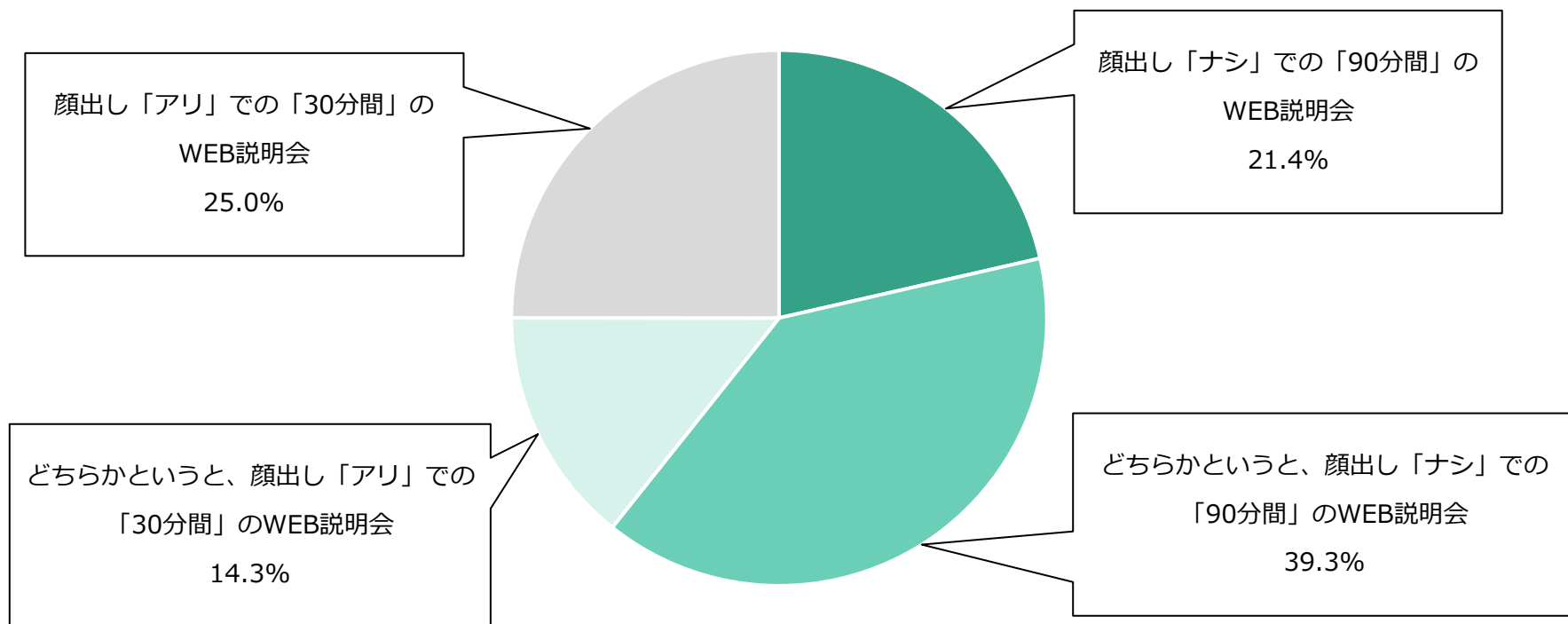
Q. あなたが参加しやすいと感じる、もしくは参加したいと感じる対面説明会は？



ワークやゲームのある「参加型」の説明会がいいという回答が82.2%を占めました。WEBセミナーが主流になっている昨今、対面での説明会は、「わざわざ訪問しようと思う理由や目的」が必要になっているのかもしれませんが。対面で講義型のような説明会を実施している場合は、集客や学生満足度の向上のためにも、ワークやゲームを取り入れることを検討すべきかもしれません。

3. 学生アンケート

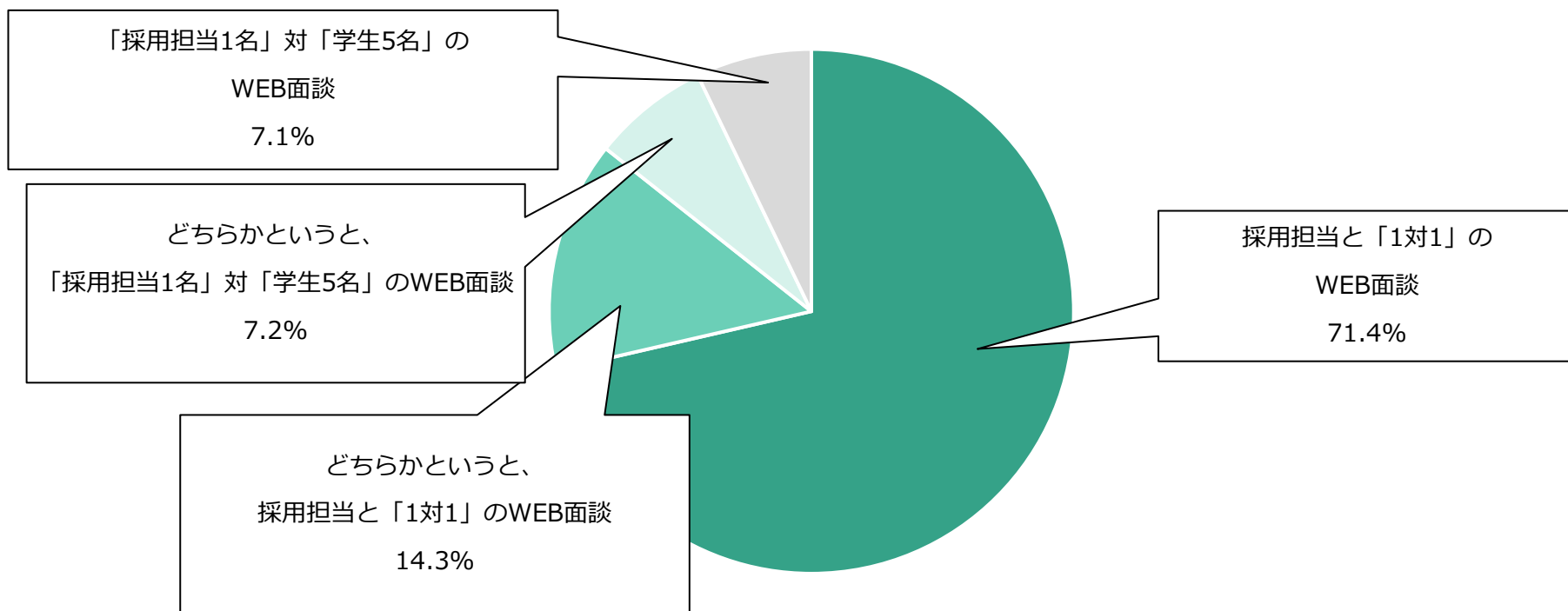
Q. あなたが参加しやすいと感じる、もしくは参加したいと感じるWEB説明会は？



WEB説明会の場合は、「顔出し「ナシ」での「90分間」」のほうが参加しやすいと過半数が回答しています。しかし一方で、約40%の学生は、「時間が短ければ顔出しアリでもよい」という考えをもっています。説明会の段階から学生の雰囲気を見たいという企業は、少し時間を短縮したWEB説明会を開催してもよいかもしれません。

3. 学生アンケート

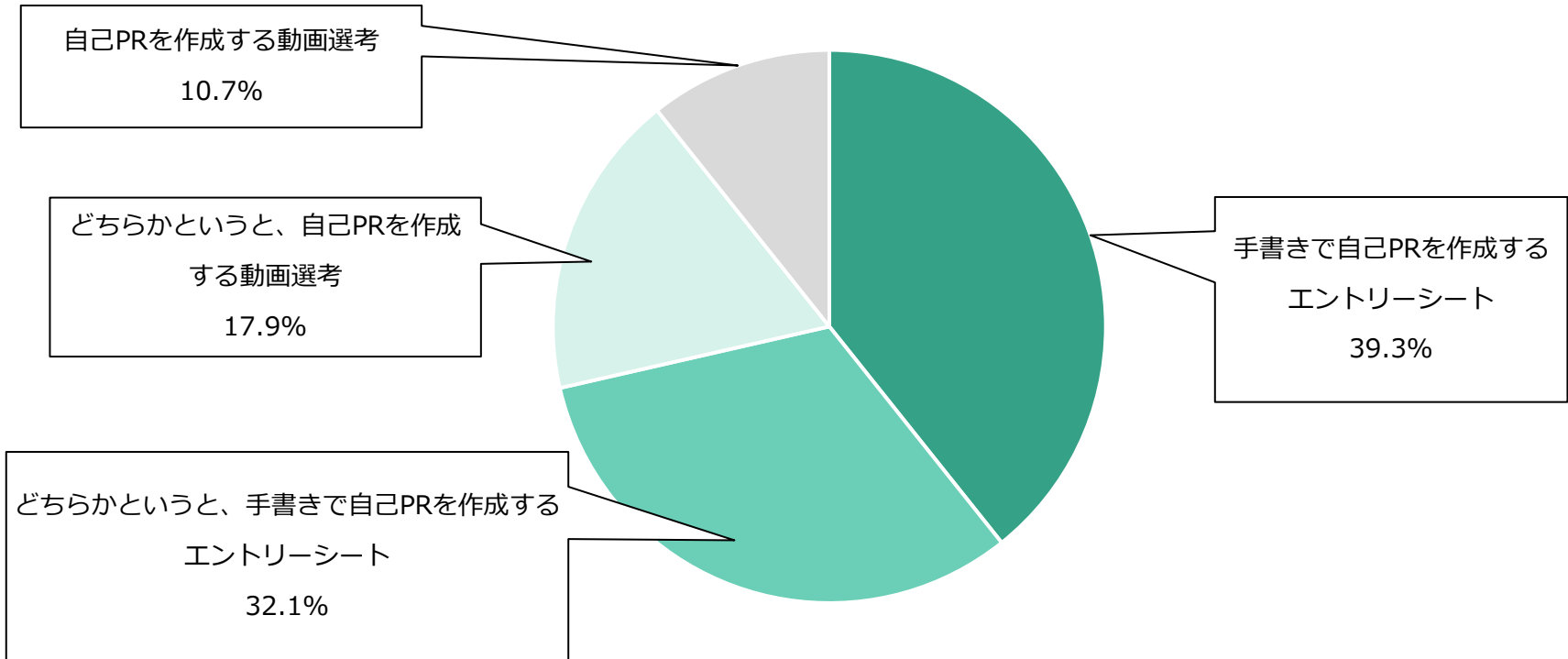
Q. あなたが参加しやすいと感じる、もしくは参加したいと感じるWEB面談は？



WEB面談については、採用担当と「1対1」の形式が良いという声が、85.7%と圧倒的です。回答の割合も、71.4%は強く希望しており、「どちらかといえば」というような回答は14.3%に留まっております。WEBという形式のためか、あまり学生側の人数を多くするのは好まれないようですので、せっかく面談を実施するならば、個別対応が望ましいです。

3. 学生アンケート

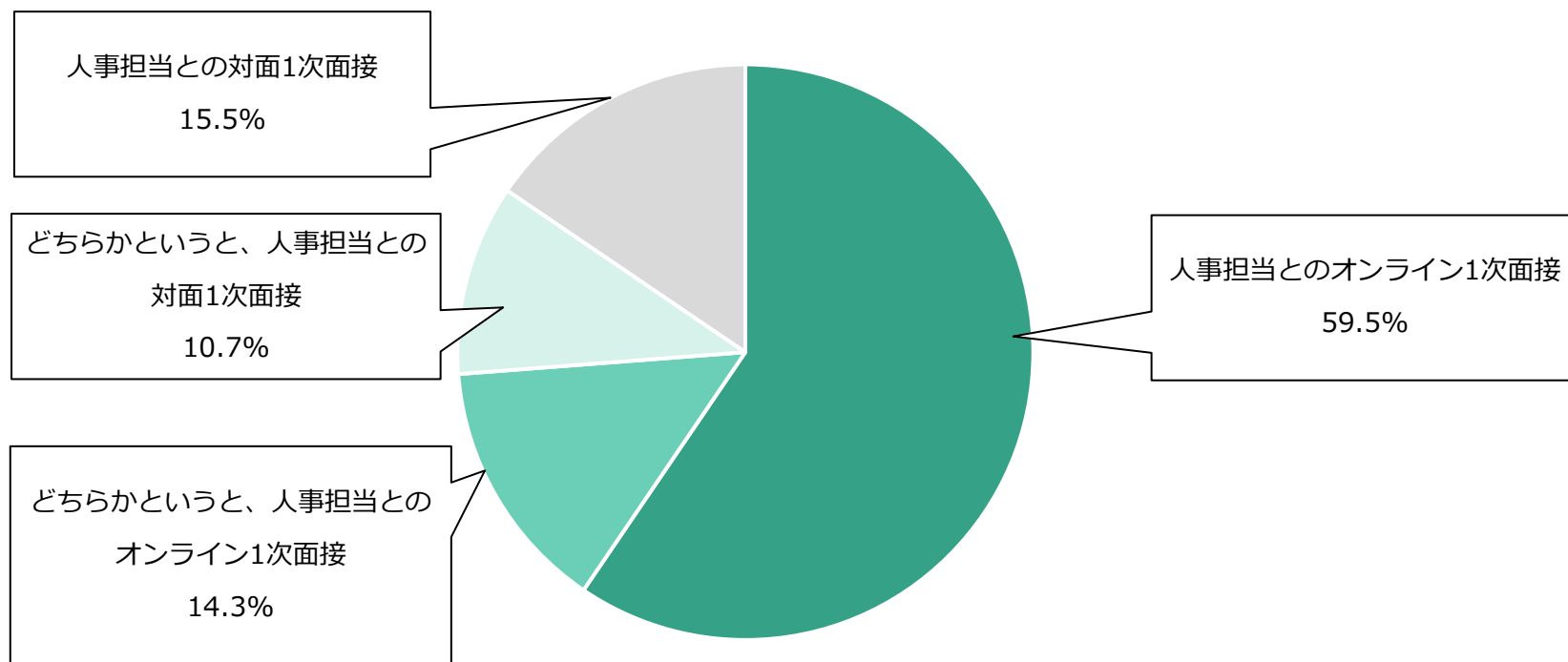
Q. 自己PR方法として「手書き」か「動画」のどちらが好ましいですか？



自己PRの方法としては、手書き派が71.4%、動画派が28.6%という結果になりました。コロナ禍で動画選考を導入した企業もあるかと思いますが、学生の評価としてはあまり高くないようです。しかし、母集団が多すぎる企業にとっては、あえてターゲット学生の絞り込みとして、動画を取り入れるという手もあるでしょう。

3. 学生アンケート

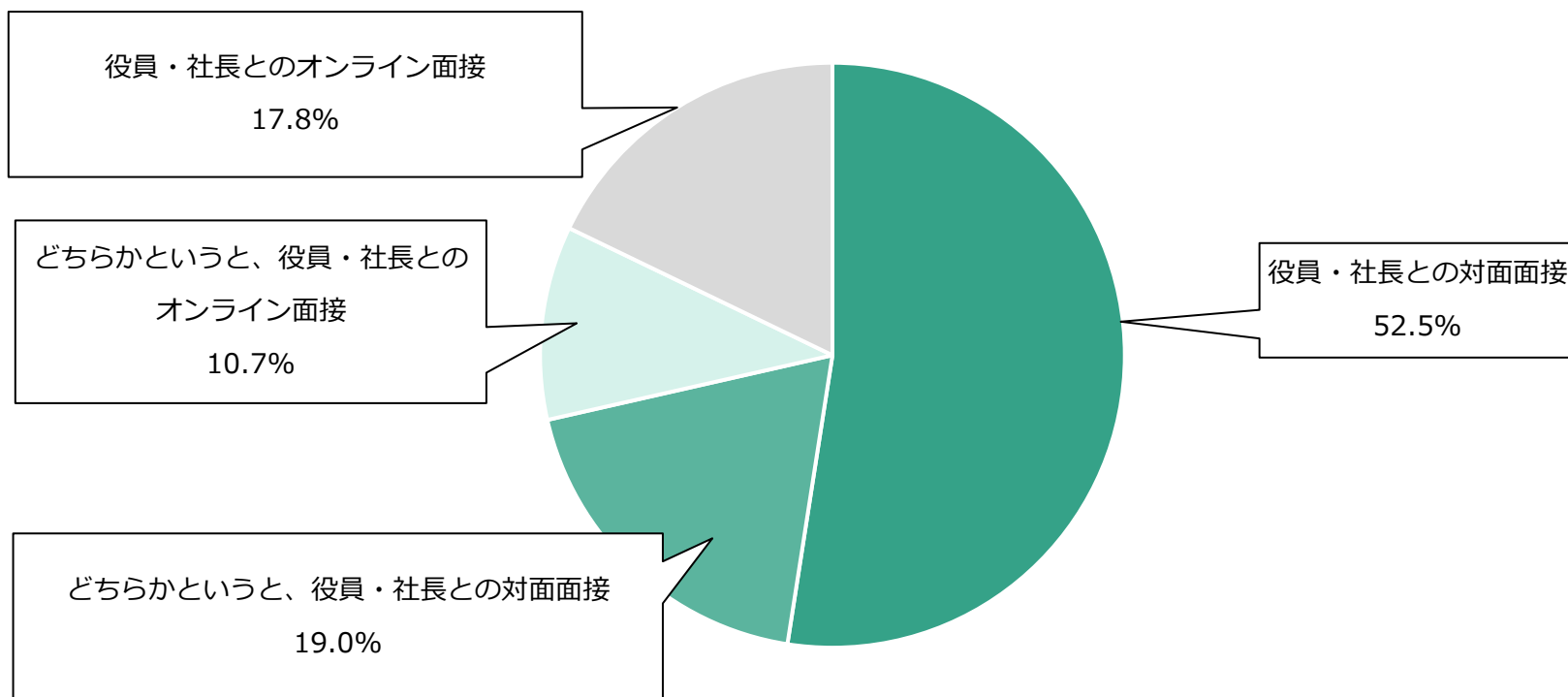
Q. 1次面接（人事面接）は「オンライン」か「対面」のどちらが好ましいですか？



1次面接の開催形式は、73.8%はオンライン、26.2%は対面が好ましいと回答しました。オンライン派のうち、「どちらかという」という中立の立場の学生は14.3%で、59.5%は強くオンライン形式を望んでいます。進捗率を上げることを考えるなら、学生の意向を汲み取ってもいいかもしれません。

3. 学生アンケート

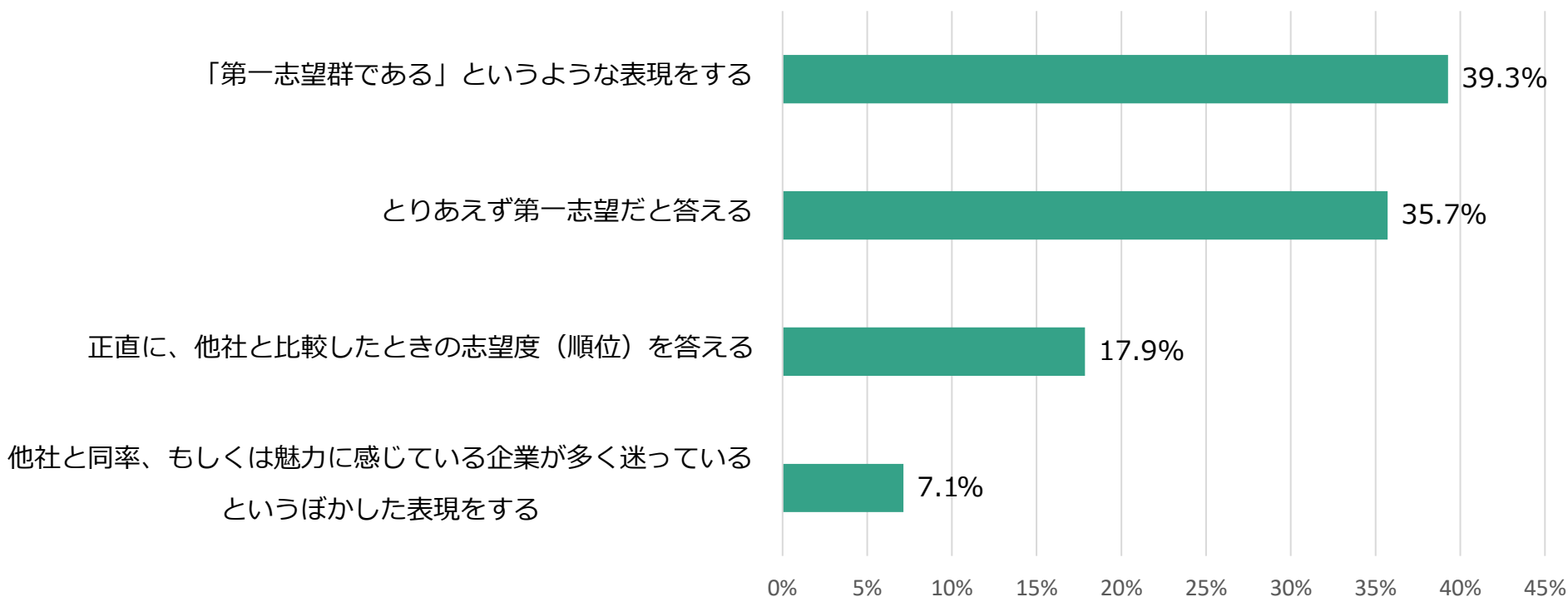
Q. 役員・社長との面接は「オンライン」か「対面」のどちらが好ましいですか？



役員・社長との面接の場合、71.5%は対面、28.5%はオンラインを好ましいと感じ、1次面接とは結果が逆転しています。役員・社長との面接となると、最終面接を想定している学生が多く、入社までに一度は直接企業に訪問しておきたいという心情の表れかもしれません。ただし、3割近くは依然オンラインを希望しているため、ある程度選考が進んでいる学生であっても、来社への説明・配慮はかせません。

3. 学生アンケート

Q. 第一志望でない企業から、「自社の志望度」を聞かれた時、あなたならどう答えますか？

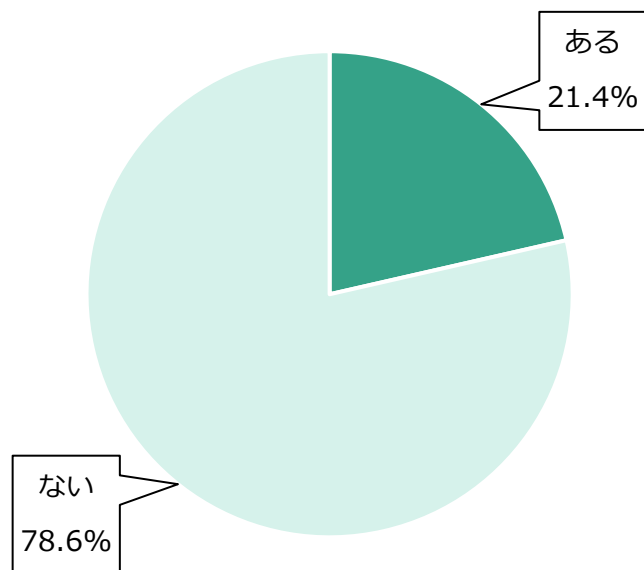


企業への志望度について、正直に回答する学生はわずか17.9%でした。75%の学生は、「第一志望群である、もしくは第一志望である」と、本来の志望度よりも高く見積もった回答をしようとしていることがわかります。

選考内で志望度を尋ねる際は、学生の返答を鵜呑みにしすぎないことが重要です。

3. 学生アンケート

Q.「#〇〇」などを用いてSNSで就活に関する検索をしたことがありますか？



〈検索したことのあるワード〉

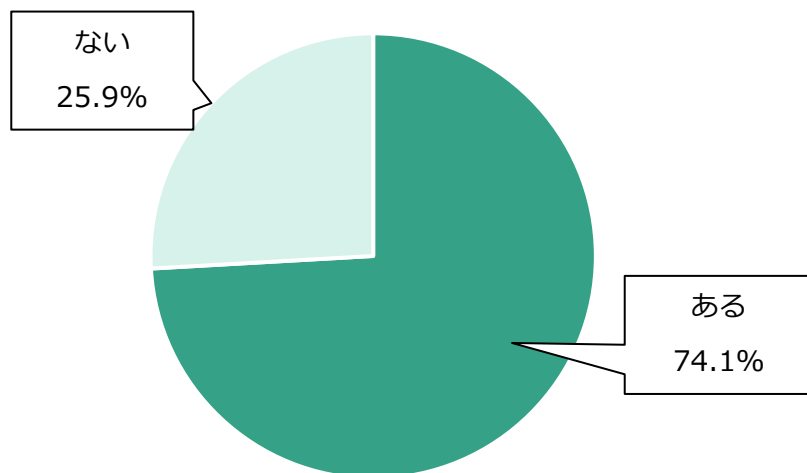
- ・ #23卒
- ・ #就活
- ・ #23卒と繋がりたい
- ・ #自己PR

SNSで就職活動に関する情報検索をしたことがある学生は、21.4%と少数派です。実際に検索したことのある方の意見では、上記のようなワードが複数見られました。ハッシュタグ（#の記号の読み方）を活用した検索では、就活生同士の繋がりをつくることや、就活を有利に進めるためのノウハウ・テクニックを収集している傾向が強いようです。

SNSを活用している企業は、ぜひ上記のようなワードを組み込みながら投稿することをおすすめします。

3. 学生アンケート

**Q. YouTubeやTik Tokなどの動画コンテンツを用いて、採用関連の動画を見たことはありますか？
ある場合は、どんなジャンルの動画を閲覧しましたか？**



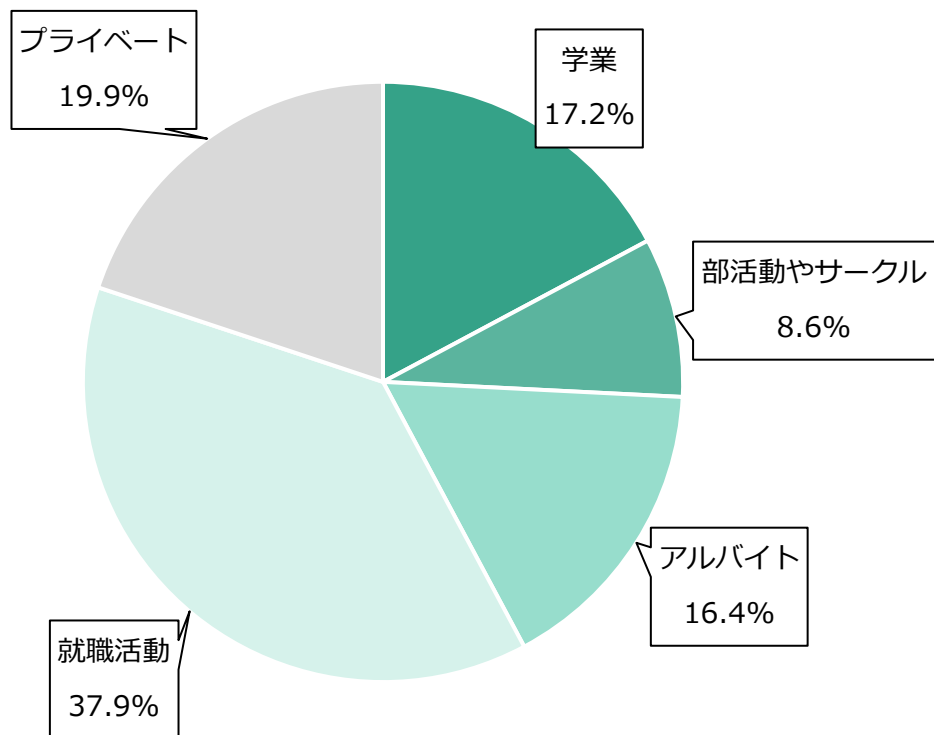
〈閲覧したことのある動画〉

- ・ 3月以前、以降にするべきこと
- ・ 就活に対する意識の持ち方
- ・ 自己分析の方法
- ・ 自己PRの書き方・考え方
- ・ 自己PR動画の撮影のコツ
- ・ 就活メイク
- ・ スーツの着こなし方
- ・ グループディスカッション対策
- ・ 面接で見られているところ
- ・ 面接テクニック
- ・ 就活生YouTuberの現在の状況について

74.1%の学生が、採用関連の動画を閲覧したことがあると回答しました。前述の「SNSでの#（ハッシュタグ）検索」同様、「就活準備やテクニック」に関するジャンルのものが多く挙げられました。自社のPRや紹介動画を公開している企業もあるかと思いますが、企業アピールをする前に、まずは学生にとって有利な情報を提供したほうが、学生からの発見率は高まる可能性があります。

3. 学生アンケート

Q.「学業（ゼミ・研究）、部活動やサークル、アルバイト、就職活動、プライベート、その他」
それぞれの活動比率を10段階で割り振ると現在どのようになりますか？

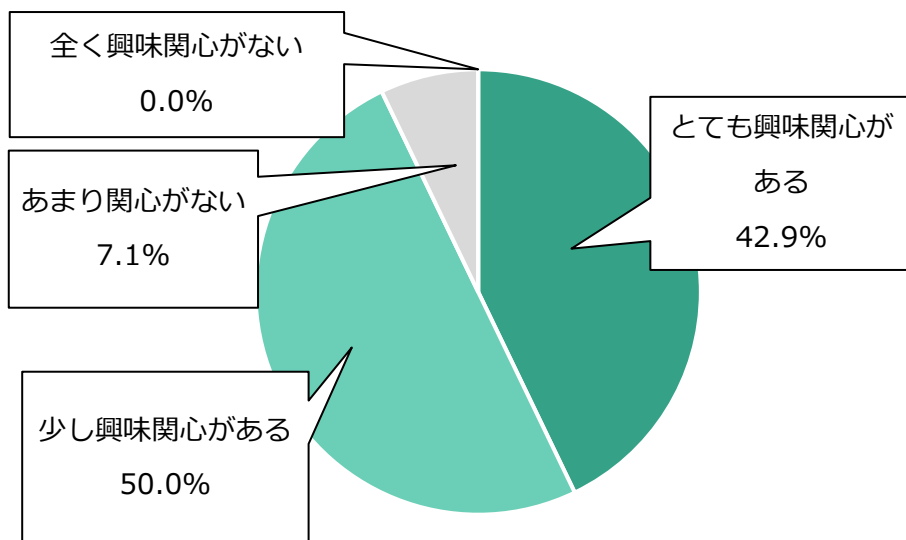


上位から順に、就職活動37.9%、プライベート19.9%、学業17.2%、アルバイト16.4%、部活動やサークル8.6%となりました。就活が最優先事項ではありますが、学業やアルバイトよりも、プライベートを優先する傾向が高いようです。

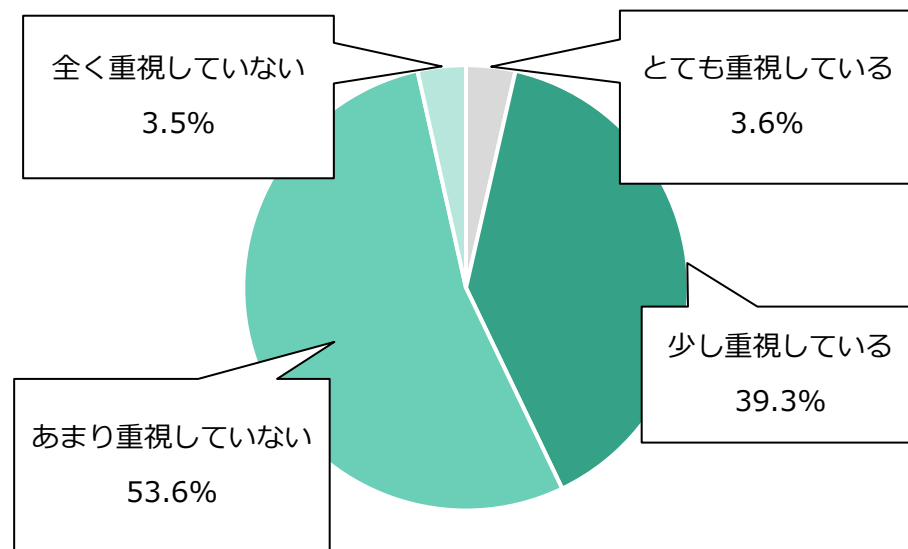
改めてではありますが、学生は様々な活動を掛け持ちしながら就活を進めています。選考の中で、ターゲット学生の普段の行動パターンを聞いておき、それに合わせて選考日程などを調整していく必要があるかもしれません。

3. 学生アンケート

Q. SDGsにどれくらい興味関心がありますか？



Q. SDGsを入社理由として重視していますか？



昨今、耳にする機会が増えた「SDGs（持続可能な開発目標）」というワードですが、23卒学生の92.9%は興味関心があると回答しています。しかし、就活においてそれが入社理由と結びつくのかというと、重視しているのは42.9%で、そこまで相関関係はないようです。学生の興味関心を自社に向けるきっかけには使えるかもしれませんが、承諾に至らせるほどの決定力までは期待できません。

3. 学生アンケート

Q. あなたが就職活動を楽しめるために利用していることや準備していることは何ですか？

- ・マイナビの情報収集や、スカウト型サイトに登録し積極的な情報収集
- ・キャリアアドバイザーとの面談
- ・自己分析の深堀
- ・新聞の購読
- ・YouTubeで就職活動のポイントについてスキマ時間に勉強
- ・事前に面接の練習を行ったり、セミナーを利用
- ・大学のキャリアセンターの利用
- ・アルバイト先の先輩にES等を添削してもらう
- ・自己PRや学生時代に力を入れたことなど、ほとんどの企業で質問されるような項目の準備
- ・自分の興味を探す事に注力
- ・就活口コミサイトなどで過去にESや面接で聞かれたことをあらかじめ確認しておく
- ・地元の少しマイナーな求人を探すために、大手ではない就活サイトに登録してエントリーをしている
- ・エントリー企業をExcelでまとめ、一目で各企業の申し込み状況や印象が見られるようにしています。
- ・Twitterで就活アカウントをつくり、就活のコツや注意点などの情報収集